

ニュースファイル

総会後の懇親会で挨拶に立った稲木新会長(写真)は、日印産連の新たなブランド



デザインの策定について積極的に取り組む方針を明らかにした。

〔役員陣容=6月11日〕(新は新任、昇は昇任、留は留任)▽会長=稲木歳明(新)▽副会長=浅野健(留)、島村博之(留)、櫻井醜(留)▽専務理事-専従=堀口宗男(昇)▽常務理事-専従=神戸好夫(新)、福島薫(新)▽常任理事=北島義俊(留)、金子眞吾(新)、堆誠一郎(留)、永井直裕(昇)、長代厚生(昇)、新村明義(昇)、三浦剛治(新)、小野隆弘(新)、吉田忠次(留)、白田真人(留)、木野瀬吉孝(留)、喜瀬清(昇)、生井義三(留)、小谷達雄(留)、吉岡新(留)、大野亮裕(留)、小林博美(留)、小宮山光男(留)、田口薫(留)、吉田弘(留)、小原隆(留)▽理事=沖津仁彦(留)、岩尾純一(新)、松原靖広(新)、山元悟(留)、有松敏樹(新)、秋元裕(新)、服部克彦(新)、花崎博己(新)、四橋英児(留)、橋本唱市(昇)、日暮秀一(新)、木村俊作(新)、林陽一(新)、山口実(新)、中村耀(新)、大熊茂樹(新)▽監事=手島英男(留)、望月克彦(留)、佐竹一郎(新)▽顧問=藤田弘道(留)、足立直樹(新)、新村重晴(留)

＝日本RPF工業会＝

**新会長に加藤信孝氏
名誉会長に関勝四郎氏**

日本RPF工業会は去る6月12日、東京・台東区の浅草ビューホテルで

第2回定時社員総会を開催、新会長に加藤信孝氏が選出された。同工業会は2003年4月に任意団体として設立され活動の産声を上げたが、12年4月に発展的に組織を解消し、その事業を継承する一般社団法人を設立、新たなスタートを切った。

RPF(Refuse Paper&Plastic Fuel)は、産業廃棄物の中でもマテリアルリサイクルとしての利用が困難なプラスチックと古紙を原料にした、高カロリーの固形燃料。同工業会によると現在、国内には215社のRPF製造業者があるが、そのうち44社が同工業会の正会員として登録している。

総会では2013年度の活動報告や収支決算報告、14年度の事業計画案・予算案をそれぞれ審議のうえ承認した後、任期満了に伴う役員改選が行われ、臨時理事会を経て次のように新しい陣容が決まった。

〔役員陣容=6月12日〕▽会長=加藤信孝(昇)▽副会長=長田和志(留)、海田周治(昇)▽専務理事=瀬田英博(留)▽常務理事=三輪陽通(留)、山本浩喬(昇)▽理事=首藤聖司(留)、今田秀幸(留)、小川勲(新)、吉田潤(新)▽監事=揚張旨彦(留)、田墨啓治(新)▽名誉会長=関勝四郎(会長)▽顧問=山本拓・衆議院議員

なお当日は総会に先立ち、三井住友ファイナンス&リソース環境事業推進部長代理・梶山浩氏が「設備導入時における補助金制度および支援」、エビス紙料取締役・見澤直人氏が「機械メンテナンスについて」、関商店取締役茨城工場長・吉田潤氏が「工場の防災」のテーマで、そ

れぞれ20分ずつ講演した。

総会終了後の懇親会では加藤新会長が、RPFの有用性を今後も市場や行政、政治の世界に強くアピールしていくと挨拶(写真)。会場には顧問に就任した山本議員のほか、稲田朋美国務大臣も姿を見せて祝辞を述べた。



催 事

＝エリエールレディス
アマチュア選手権2014＝

全国6地区で開催

大王製紙は、日本女子プロゴルフ協会公認ツアーの最終戦「第33回大王製紙エリエールレディスオープン」の本戦出場権を賭けた、「第2回 エリエールレディスアマチュア選手権2014」を、7月から全国で開催する。

このレディスアマチュア選手権は、一昨年までは主に四国で開催されてきたが、昨年からは開催地を5地区に拡大、今年は拡大版の第2回目となる。また今年は新たに中部エリアを加え、全国6地区7会場(福島県/埼玉県/千葉県/愛知県/兵庫県/愛媛県/福岡県)で開催される。各会場での優勝選手7名は、「大王製紙エリエールレディスオープン」本戦に主催者推薦として出場できる。ちなみに昨年は、関西大会を制した小野祐夢選手(当時16歳)が、本選で30位タイとなりベストアマチュア賞を獲得した。